

木造日光月光菩薩立像/木造十二神将立像 について

もくぞうにっこうがっこうぼさつりゅうぞう 2 軀
 木造日光月光菩薩立像

もくぞうじゅうにしんしょうりゅうぞう 12 軀
 木造十二神将立像

(所在本堂)

所在地：岡崎市滝町字山籠107

所有者：宗教法人瀧山寺

【概要】

瀧山寺本堂(重要文化財)の秘仏本尊薬師如来像の両脇侍¹および²眷属として伝わる日光月光菩薩像と十二神将像。『瀧山寺縁起³』の記述より仁治3(1242)年に造り始め、建長2(1250)年までに完成したことが知られる。当地の古刹⁴に一具完存して伝わる群像であり、当初の表面彩色文様を遺す点も貴重である。殊に十二神将像は面貌⁵や持物⁶に類例のない特徴をみせるなど、異色の十二神将として注目される。(鎌倉時代・13世紀)

- 脇侍¹ 仏像で本尊の両脇に侍するもの。
 眷属² 従者。家来。配下の者。
 縁起³ 神社仏閣などの「いわれ」。
 古刹⁴ 昔から存在する、由緒ある寺。
 面貌⁵ 顔かたち。顔つき。
 持物⁶ 仏像の手にしているもの。



木造十二神将立像(3号像)



木造十二神将立像(6号像)



木造月光菩薩立像